



若竹だよい

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヶ所巡礼者無料宿泊＆お接待 ②講演会・シンポジウム

【巻頭言】

施設連絡会を通して感じたこと

園長 宮脇 景子

7月17日に若竹学園(以下、当園と記載)にて令和6年度施設連絡会が開催されました。この連絡会は年に一度、香川県をはじめ、児童相談所・分校・当園の職員が集まり、意見交換を行う場です。

今年度の施設連絡会は、昨年までの施設連絡会とは少し違った雰囲気でした。当園からたくさんの協議題を出したため、議論が白熱し、連絡会終了後も話し込んでいる場面を目にしていました。子どもたちのために必死で議論している当園の職員の姿を見て、頼もしさと情熱、責任感を感じました。

各関係機関と当園が連携していくのは大ですが、それぞれの機関には立場や役割、専門性があるので、時に意見や考えの相違が生じることがあります。その意見の相違はとても重要で、子どもたちへより良い支援をしていくために必要な過程の一部だと考えています。子育てにマニュアルはないのと同じで、支援の形や方法も子ども一人一人違います。その支援の形や方法を見出していくために議論があり、意見の相違から新たな支援の方法が生み出されると思っています。

今回の施設連絡会を通して感じたこと、学んだことを実行、実践していき、そこから得た結果と評価を関係機関と共有し、これまで以上に連携を深めていければと思っています。

7月のハッピーバースデー

先月は小学生3名が誕生日を迎えることができ、みんなでお祝いをしました。

若竹学園では、誕生日の子どもに事前に食べたいメニューを聞き、できるだけ取り入れた食事を作っています。また、職員と子どもたちと一緒に誕生日ケーキも作ります。

誕生日は年に一度の特別な日であり、誰もが主役になれる日です。子どもたちはみんなからお祝いの言葉を言われるたびに照れくさそうしていました。



七夕

7月5日は、七夕の短冊を竹に飾りました。ただ、今年は6月の末より実習生が制作した竹に短冊を飾っていたので、その短冊を竹に飾る形になりました。職員と子どもたちがそれぞれ夢や願望を書いていたので、子どもたちも職員も足を止めて凝視していました。

七夕当日は、天候が良かったので、子どもたちと一緒にしばらく夜空を眺めました。すると流れ星が見えました。願いが叶うかもしれません。



休日の過ごし方

7月14日に会議室にて映画鑑賞会を行いました。雨天や熱中症警戒アラートが発令されると園庭で運動ができないので、室内で過ごす時間が増えてしまいます。そのため、室内で有意義な時間を過ごせるように計画をしました。今回は特別にポップコーン付きにし、映画をさらに楽しめる雰囲気を作りました。映画は、「映画ドラえもん」と「クワイエット・プレイス」を鑑賞しました。

他にも香川県総合運動公園で行われた香川県中学校総合体育大会サッカー競技の観戦やレグザムスタジアムで行われた第106回全国高等学校野球選手権香川県大会の観戦にも行きました。普段なかなか見ることができない試合を目にして、子どもたちは興奮していました。

子どもたちが少しでも充実した夏休みになるように職員はこれからも企画していきたいと思います。

亀山学園 夏祭り

7月20日に同法人の亀山学園の夏祭りに行きました。ネギ焼きやカレーなど出店数がたくさんあり、子どもたちは「どこから回ろうかな」と悩んでいました。定期的に亀山学園の子どもたちとは交流があるため、「あっ、○○くんおった」と話しかけていました。また、当園の退園生との再会もあり、思い出話に花が咲きました。

亀山学園の夏祭りは例年以上の人の多さに驚きました。各ブースには終始長蛇の列になっている光景を見て、「すごいな。若竹の夏祭りもいっぱい人が来てくれると言えなあ」と子どもたちが話をしていました。



カヌー教室

7月18日に高松市国分寺B&G海洋センターにてカヌー教室がありました。分校の行事ですが、職員が同行していたので、子どもたちの様子を見ることができました。

安定しない水上でカヌーに乗り、オールを漕ぐので、ほとんどの子どもたちが慣れるまで時間がかかっていました。ただ、練習するとスムーズに前後左右に漕ぐことができました。最後はボートにも乗せてもらい、みんなご満悦でした。

色々な体験をすることで子どもたちの社会性や対応力が身についていきます。初めての体験は緊張や恐怖もあると思いますが、挑戦していく中で得られることがたくさんあります。当園でも色々な体験ができるように計画していきたいと思います。



若竹学園の夏祭りに向けて

7月24日に当園の夏祭りがあるので、子どもたちと職員で屋台の看板づくりや小物づくりなど準備をしました。

年に一度の大イベントに職員も子どもたちも気合が入っています。看板作りでは、どんな看板にしたいのか子どもたち同士で考えながら協力して作ることができました。小物作りでは、トトロや職員紹介の展示物を作っています。来園した方々が喜ぶ表情を想像しながら制作に励んでいます。



若竹学園夏祭り

7月26日に令和6年度若竹学園の夏祭りが開催されました。

夏祭り当日は少し曇っていたものの、日中は熱中症警戒アラートが発令する炎天下となりましたが、休憩をしながらみんなで来園者を迎える準備をしました。



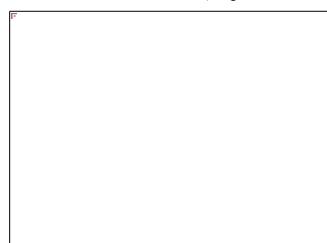
今年は食事・娯楽を含めて計8つの屋台を出しました。夏祭りには他施設の児童や当園を退園した児童の姿もあり、例年以上に盛り上がりました。

来場者が落ち着いたところで、毎年恒例の盆踊りを日本舞踊の先生方を中心に踊りました。今年から少しアップテンポの楽曲の踊りも追加したため、子どもたちはリズムに乗りながら最後まで楽しく踊っていました。



夏祭りの最後に大抽選会を行い、今年度の夏祭りは幕を閉じました。

準備不足な面があり、改善しないといけない点も数多くありましたので、反省点を来年の夏祭りに活かしていきたいと思っています。ぜひ、来年の夏祭りもたくさんの方々の来年をお待ちしております。



7月行事

7月 5日	七夕
7月 7日	おやつ作り
7月 14日	映画鑑賞会
7月 20日	亀山学園 夏祭り
7月 24日	サッカー観戦
7月 26日	若竹学園 夏祭り
7月 27日	野球観戦

在籍人数

令和6年8月1日現在

区分	県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
小学生	3	0	3
中学生	6	2	8
合計	9	2	11

編集後記

毎日、熱中症警戒アラートが発令するほど危険な暑さが続いています。今月は夏休み期間のため、様々な行事を計画しています。子どもたちの体調に十分配慮しながら思い出に残る夏休みにしたいと思います。（山下）

ご寄付ありがとうございます。

アドボカシー事業所 ここまい
…飲み物たくさん

第451発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮脇 景子





五色台分校だより



梅雨の中休み、梅雨明けを待ち望む今日この頃。

子どもたちは1学期、学習にスポーツに、毎日一生懸命頑張りました。

【ふわふわ言葉　ちくちく言葉】

「言葉遣いを大切にしよう」という話を朝の集会でしました。

「ふわふわ言葉」は使えば使うほど相手の心だけでなく、

自分の心も温かくなります。箱の中から取り出した「ふわふわ言葉」を
その日一日のどこかの場面で、誰かに使ってみましょう。

恥ずかしいときは、自分の中に使ってみましょう。

「ちくちく言葉」は言われた人が嫌な気持ちになり、
自分も言われると傷つきます。

頭の中に浮かぶことがあっても、口には出さないようにしましょう。



【授業はこんな様子で頑張っています】

家庭科の調理実習では、スライサーとピーラーをうまく使ってのポテトチップス、蒸し器を使ってのプリン、油に注意してポンデリングを作りました。普段買って食べているおやつの分量を計算することから頑張って作りました。砂糖をこんなに使っているの?と驚きの声も出ていました。



体育の授業では、NHKforSchool「水泳の介」を視聴し、今回はクロールの息継ぎや腕の動かし方などのポイントに注目して取り組みました。お互いにできているか確認をするような声かけも聞こえました。次の目標はバタ足をうまくできるようになることです。

